

《研究課題名》冠動脈バイパス術後心房細動の発生と周術期麻酔管理との関連

《研究対象者》西暦 2010 年 1 月より 2019 年 10 月までに滋賀医科大学附属病院において冠動脈バイパス手術を行うため全身麻酔を受けられた患者様

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究課題名》冠動脈バイパス術後心房細動の発生と周術期麻酔管理との関連

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日（2020年 01 月 14 日）～2024 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 麻酔学講座 今宿康彦

（2）研究の意義、目的について

《意義》冠動脈バイパス術後に認められる心房細動は高率に発生する合併症の一つです。心房細動が起これば、脳梗塞のリスクの増大、血行動態の不安定化、治療費用の高額化、入院期間の長期化など様々な不利益を引き起こします。しかし周術期における様々な管理が術後心房細動発生に与える影響に関しては未だ明らかになっていません。

《目的》

術後に心房細動を起こした症例と起こさなかった症例との間に周術期麻酔管理の違いはあったのかを検討し、患者様の術後心房細動の発生を少しでも軽減することを目的としています。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

冠動脈バイパス術後 7 日間に合併症である心房細動が発生した方と発生しなかった方で周術期麻酔管理の違いを診療録から検討します。

《利用する試料・情報の項目》

年齢、性別、身長、体重 内服薬 検査データ 心エコーデータ 手術麻酔時間 各薬剤投与量 輸血量 尿量出血量 術後 7 日間における心房細動発生の有無を診療記録より各データを抽出します。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

オプトアウト

所属 麻酔学講座 氏名 今宿 康彦

(4) 個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2021年3月31日までに下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 麻酔学講座 今宿康彦

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2281

メールアドレス：hqanes@belle.shiga-med.ac.jp